

2025年11月11日に全体ミーティングの時間を活用し、伊藤超短波株式会社様にご協力いただき『コンビネーション刺激装置 EU-910』の研修会を開催しました。

コンビネーション刺激装置は、超音波による温熱や振動と電気刺激を同時に行うことができ、疾患部に二つの刺激が働きかけことで治療の幅が広がり、効率的な効果が期待できます。具体的には、疼痛の緩解、微小マッサージ作用、筋萎縮の改善などが挙げられます。

研修会では、まず座学による概要説明を受けた後、デモンストレーションを行っていただきました。実際に痛みや関節の動かしやすさを抱えるスタッフが体験し、「驚くほど痛みがなくなった」、「動かしやすくなって驚いた」といった感想が寄せられました。その声を聞いた他のスタッフも強い関心を示し、真剣に使用方法を学んでいました。

リハビリテーション科では、患者様に提供するリハビリテーションの質をさらに高めるため、今後も積極的に新しい知識や技術を取り入れ、様々な取り組みを続けてまいります。

(文責 藤原 聰)

【研修会風景】

